



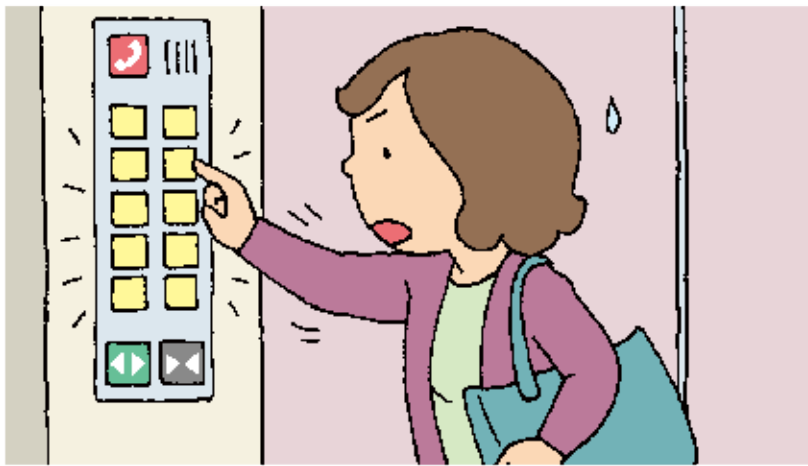
こんな場所で地震が起きたら？

地震は自宅にいるときに起きるとはかぎりません。大きな揺れがあったとき自分の命を守るために、それぞれの場所に合った注意点を覚えておきましょう。

屋内のこんな場所にいたら

エレベーターの中では

- 地震の揺れがあると自動的にいちばん近い階に止まるのでそこでおられる。自動で止まらないときはすべての階のボタンを押し、止まった階でおられる。
- 閉じ込められたときは、非常ボタンやインターホンで外部と連絡をとり、救出を待つ。天井などから無理に脱出するのは危険。



スーパー・コンビニエンスストアでは

- 低い姿勢を保ち、大きな揺れで転ばないようにする。
- 商品の落下やショーケースの転倒、ガラスの破片に注意する。柱や壁際に身を寄せ、バッグなどで頭を守る。
- あわてて出口に向かうとパニック状態になることもあり危険。店員の指示にしたがって行動する。



地下街では

- 比較的安全といわれているので、あわてて外に逃げずに、大きな柱や壁に身を寄せ、揺れがおさまるのを待つ。
- 約60メートルおきに出口があるので、照明が消えてもあわてず落ち着いて行動する。
- 火災が発生したら、ハンカチなどで鼻と口をおおい、体を低くして壁づたいに地上に向かう。

学校では

- 先生や校内放送の指示にしたがう。
- 教室にいるときは、揺れだしたらすぐ机の下にもぐり、机の脚をしっかりと持つ。
- 揺れがおさまったら本棚や窓から離れ、安全な場所に移る。
- グラウンドなどの安全な場所にいるときは、その場で姿勢を低くし、頭を守る。

階段では

- すぐにしゃがみ込み、手すりをつかむなどして転落しないようにする。

